

投資事業評価調書 (新規)

課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路課長 加藤善典 (大江 泰廣)	内線	4474 (4480)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	街路事業	事業名	事業区間	総事業費	約 20.0 億円 (うち用地補償 費 12.6 億円)
		都市計画道路 尼崎宝塚線(末広工区) (県道尼崎港崇徳院線)	尼崎市末広町 ～大浜町		

所在地				着工予定年度	完成予定年度
尼崎市末広町～大浜町				H14年度	H16年度

事業目的		事業内容
阪神間臨海部の交通体系強化 ・国道43号と阪神高速大阪湾岸線の連絡強化 広域ネットワークの強化 ・南北軸の強化による阪神間都市圏の広域的なネットワークの強化 国体関連 ・H18年夏季国体会場予定地への主要なアクセス道路		道路改築(道路新設) L = 44.5 m W = 30 m (4車線)

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけられた緊急輸送道路
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 都市内道路ネットワークの形成 ...尼崎臨海部と宝塚市等阪神北部を結ぶ阪神間の主要南北幹線としての重要路線 交通拠点へのアクセスの向上 ...国道43号と阪神高速大阪湾岸線(尼崎末広ランプ)を直結
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 街路緑化...広幅員植樹帯によるうるおいの確保 良好な市街地形成...尼崎臨海西部区画整理事業の支援 沿道景観形成支援...尼崎21世紀の森構想を踏まえた景観形成
その他	<ul style="list-style-type: none"> 大規模イベント関連...H18年夏季国体会場予定地への主要アクセスの確保 前後の区間の状況...隣接北側工区は市施行区画整理事業で事業中 区画整理事業～国道43号は街路事業により事業中
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 3 . 2 阪神間の広域ネットワークの強化、阪神高速大阪湾岸線へのアクセス機能の強化、尼崎臨海西部区画整理事業等と一体となった良好な市街地形成等の効果が期待できる。 事業用地の取得も順調に進む見通しであり、円滑な事業執行が可能である。
効率性	
(3)環境適合性	尼崎21世紀の森構想をふまえた環境共生型まちづくりの推進のため、同構想の南北の緑の軸として緑豊かな自然環境の創出を図る。
(4)優先性	阪神間の広域ネットワークの強化、阪神高速大阪湾岸線へのアクセス機能の強化等、多様な観点から整備の必要性が高く、事業中の区画整理事業と一体的に整備することにより、相乗効果が期待できる。 また、平成18年の夏季国体会場予定地への主要なアクセスでもあることから、早期に整備を行う必要がある。
評価の結果	左の理由